

## 令和 2 年度 事業報告書

特定非営利活動法人 日韓トンネル研究会

### 1. 事業の成果

新型コロナウイルス感染症拡大により活動に制約がかかるなか、各種会合や勉強会の開催など対面での活動を大幅に減らし、非対面方式での活動が増えた。

社会教育事業では、オンラインで国際会議へ参加し、日韓トンネルの意義を国内外に広めた。

調査研究事業では各種トンネルに関する事例研究や現地視察などを行い、海底トンネルのルート選定の基本方針をたてた。これらは今後の日韓共同研究につながるものである。

国際協力事業では釜山やソウルにある韓国側団体への情報提供や先方の出版物へ寄稿をした。

情報収集提供事業では、当会のホームページをリニューアルし、過去 38 年間に当会発行の出版物のレポートを分類し公開した。公開後は大手新聞社などからの問い合わせが増え、それらが記事となったことから日韓トンネルに対する社会的評価にも影響を及ぼしたと思われる。

刊行物の発行事業では「日韓トンネル通信」を発行したが、これは 2 回にとどまった。

2020 年度は以下のことを研究した。

#### 1. 社会教育事業

- ・ 渉外活動
- ・ 講演会や勉強会の開催

#### 2. 調査研究事業

- ・ 地形地質の研究
- ・ 工法の研究
- ・ 事例研究
- ・ 日韓トンネルに関する資料収集
- ・ トンネルに関する既存資料収集

#### 3. 国際協力事業

- ・ 交流会の実施
- ・ 在外公館の訪問

#### 4. 情報収集提供事業

- ・ インターネットによる情報収集
- ・ ホームページの公開と維持

#### 5. 刊行誌の発行事業

- ・ 日韓トンネル通信の発行
- ・ パンフレット等の増刷

(研究成果の概要は当会の刊行物「日韓トンネル通信」に公表し、関係する政府ならびに地方公共団体に発送した。)

## 2. 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業費の総費用 4,468 千円

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
社会教育事業	<p><b>1-1. 渉外活動</b></p> <p><b>1-2. 講演会への参加</b>            日中の学者らが参加する国際会議（オンラインリモート）に参加し、日韓トンネルが東アジアの平和と安定に役立つプロジェクトだということを関係者にブリーフィングした。            ・2020年9月29日：[ ] が講演（東京）</p>	通年	日本	5人	全会員 1,000人 政財官界人 中国関係団体	350
調査研究事業	<p><b>2-1. 地形地質の研究</b>            日韓共同調査の実現に向けて対馬海峡西水道に関する地形地質関連の図面等を整理した。</p> <p><b>2-2. 路線の研究</b>            海底トンネル路線選定の基本である①海底部区間距離を短く、②最大水深を浅くする、という原則を基に、地形・地質の性状など客観的事実を集積するための調査方法の検討を始めた。</p> <p><b>2-3. 工法の研究</b>            東京都内の大深度地下で用いるシールドマシンのカッターフェイスやビットの形状を観察し、大深度長距離掘削の研究資料とした</p> <p><b>2-4. 事例研究</b>            [ ] が携わった辺富内線日振トンネル、上越線新清水トンネル、横須賀線の東京・品川間トンネルを対象に工法、路線選定、湧水対策を研究した。研究結果は日本トンネル技術協会機関誌の「トンネルと地下 2021年1月号」に掲載された。</p> <p><b>2-5. トンネルに関する既存資料収集</b>            当会発足（1983年）以降に集積したトンネル関連資料を分類整理して使いやすくした。一部は当会のホームページに掲載した。</p>	通年	日本	24人	全会員 1,000人	2,849

国際 協力 事業	<b>3. 情報提供と執筆</b> 日韓トンネル建設を推進する韓国側団体への情報提供や発行物への投稿を行った。 ①韓国海底トンネル研究会（ソウル） シンポジウム（2021/3/31 開催）での発表資料提供。 ②社団法人韓日トンネル研究会（釜山） 出版物「国家政策提案書」に投稿、テーマ：日韓トンネルが拓くユーラシア新時代	通 年	韓 国 日 本	10 人	不特定多数	294
情報 収集 提供 事業	<b>4-1.インターネットによる情報収集</b> 海底トンネルの設計、施工、維持管理などに関する情報を収集して整理した。  <b>4-2.ホームページのリニューアル</b> ホームページを2020年8月1日に大幅更新した。更新の狙いは以下3点。 ① 出版物の保存と公開 ② レポートの分類と活用 ③ 日韓トンネルとは何かを明示 2021年4月27日時点でページ数111、収録pdfファイル485点である。	通 年	日 本	4人	不特定多数	213
刊行紙 の発行 事業	<b>5-1.日韓トンネル通信の発行</b> 刊行紙「日韓トンネル通信」を2回発行した。	随 時	日 本	10 人	全会員 他 2,000人	761